

「ちばっ子の学び変革」推進事業 令和7年度 研究状況報告書



多古町立久賀小学校

1 学校紹介

多古町立久賀小学校（令和8年2月2日現在）

○ 全校児童 95名、学級数9（特別支援3）

○ 学校目標

「豊かな心をもち、創造性に富むたくましい子ども」

- ・ 公平で思いやりのある子
- ・ 健康でがんばりのきく子
- ・ 自ら学び、自ら考える子

○ 地域

- ・ 自然豊かな環境

2 研究主題

自ら考え 表現し 学び合う 児童の育成
～ I C T の効果的な活用を通して～

3 研究主題の理由①

本校の課題（R6全国学力・学習状況調査より）

- ・ 主体的・対話的で深い学びに関する質問調査のすべての質問において、全国平均を下回っている。
- ・ 特に、**自ら考えること**（「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」）に関する質問において、**肯定的な回答をした児童が、全国平均より低かった。**

3 研究主題の理由②

本校の課題（R6全国学力・学習状況調査より）

- ・ **表現すること**（ICTを活用し、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」）に関する質問において、**肯定的な回答をした児童が、全国平均より低かった。**
- ・ **ICTを活用して学び合うこと**に関しても、**肯定的な回答が少なかった。**

→R2 1人1台端末導入（当該学年2年時）
R4 電子黒板導入（当該学年4年時）

3 研究主題の理由③

本校の実態（R6全国学力・学習状況調査より）

- ・ **学び合うこと**（「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」）に関する質問において、**肯定的な回答が比較的多かった。**

3 研究主題の理由④

本校の実態（R6全国学力・学習状況調査より）

- ・ **I C Tを活用することの有用性**（「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」「画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよく分かる」）に関する質問において、**肯定的な回答が比較的多かった。**

3 研究主題の理由⑤

課題

- ・自ら考えること
- ・表現すること
- ・ICTを活用して学び合うこと

児童の意識が比較的高い

- ・学び合うこと
- ・ICTを活用することの有用性への理解

4 研究目標

児童が**自ら考え、表現し、互いに学び合うこと**ができるようになるための**I C Tの効果的な活用**を、**実践を通して明らかにしていく。**

5 研究仮説

教科の特性を生かして、「個別最適な学びの視点」と「協働的な学びの視点」をもって、ICTを効果的に活用すれば、児童が意欲的に学習に取り組めるようになり、自ら考え、表現し、互いに学び合う児童を育成することができるだろう。

6 研究の具体的内容①

教員のICT活用力を向上させる取組



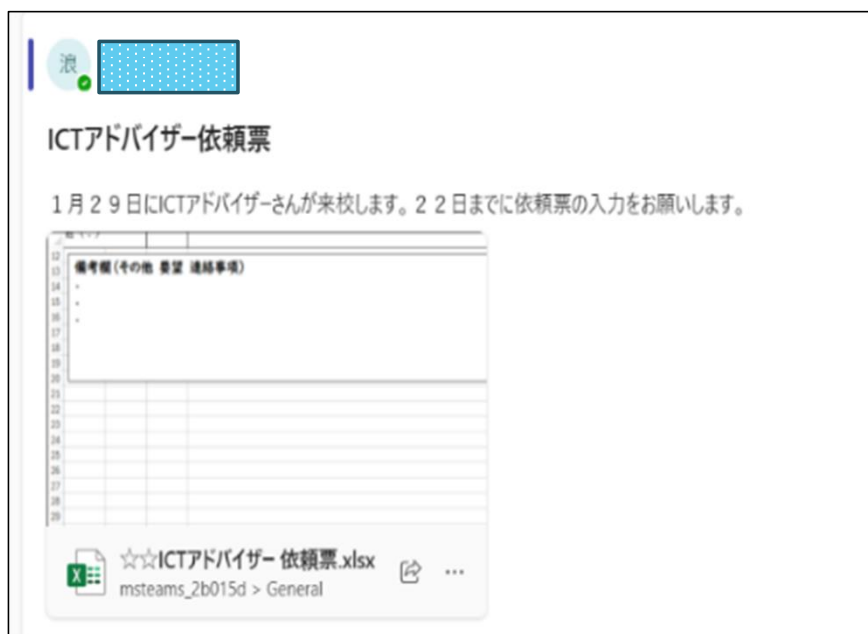
活用実践研修



実践のとりまとめ
学習支援Webシステム：発表ノート
以下「発表ノート」

6 研究の具体的内容②

教員のICT活用力を向上させる取組



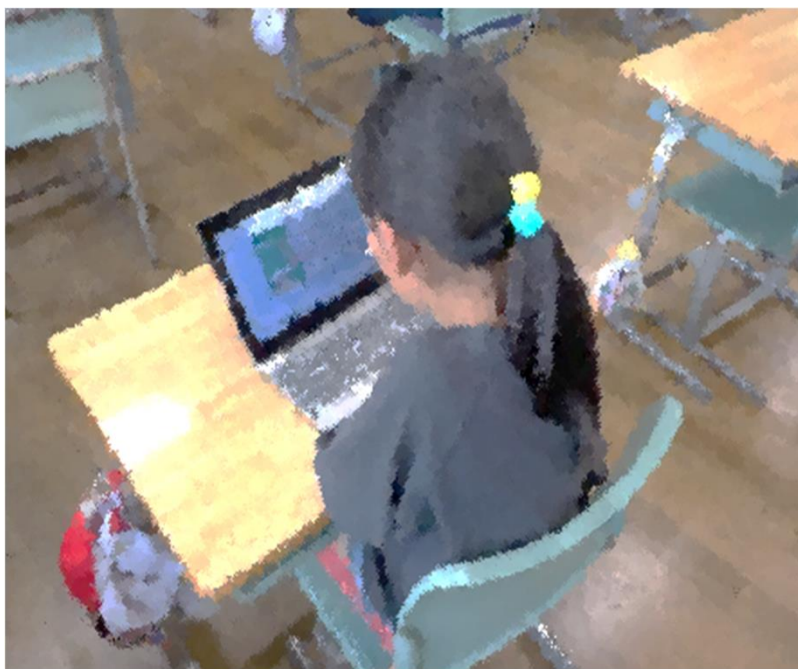
依頼表のデジタル化



デジタルコンテンツの集約

6 研究の具体的内容③

児童のICT活用力を向上させる取組



タイピングを行っている様子



タイピングコンテストの賞状伝達

6 研究の具体的内容④

児童のICT活用力を向上させる取組



ICT活用アドバイザーによる情報モラル授業

6 研究の具体的内容⑤

児童のICT活用力を向上させる取組

	リテラシー	モラル・セキュリティ	プログラミングスキル	プログラミング思考	日頃の利用
6年生	情報真意の判定、情報ソースを意識している。 相手の気持ちを考えたIT利用をしている。	情報発信、受信、引用(著作権)について理解している。 SNSの活用について理解している。	条件分岐を複数使うことができる。 変数処理、座標を意識してプログラムを作っている。	相手に、事象の要素を分解して伝えている。	・情報を収集するために、インターネットを含む様々なメディアを活用し、情報収集と情報発信への活用をすることができる。 ・インターネットを活用した文章の収集をし、読む癖をつける。 ・FormsやTeamsなど各ツールを活用することができる。
5年生	クラウド・ローカルの違いを理解している。 フォルダの整理整頓している。	アップデートの必要性を理解している。 保存先の違いによる注意点について理解している。	繰り返し処理を行っている。 正誤判定を行っている。	相手にして欲しいことの指示を分割して伝えている。	
4年生	写真と文章を用いてドキュメントを作成している。 ネットワークへの接続、選択している。	インターネットの危険性について理解している。	習った機能を使ってスムーズに動くプログラムを作っている。	相手に何をして欲しいか自分の言葉で伝えている。	
3年生	文書作成をしている。 キーボードを自然なタッチで操作している。	インターネットを通して、人とつながっていることを理解している。	言われた通りに操作をし、プログラムを動かしている。	複雑な指示を理解し、指示を分解して物事に取り組んでいる。	
2年生	授業で使うツールの操作している。 ログアウトや開いているファイルを消して作業を終了している。			複数の指示を理解し、指示を分解して物事に取り組んでいる。	
1年生	機器を大切に扱う、PCの電源を入れている。 ID・パスワードを使ってログインしている。 パスワードを他者に教えない。 PCのバッテリー残量がわかっている。			一つ一つの指示を理解し物事に取り組んでいる。	

多古町
ICT活用推進
ロードマップ

6 研究の具体的内容⑥

個別最適な学びの視点

(1) 第2学年 生活科「久賀っ子フェスタ」でくがのすてきをつたえよう」



撮影・録画している
様子



Google Maps の画像を使用しています

教師が作成した
デジタルマップ

6 研究の具体的内容⑦

個別最適な学びの視点

(2) 第3・4学年 体育「マット運動」



学習する技一覧
(動画リンク貼り付け)

視聴動画

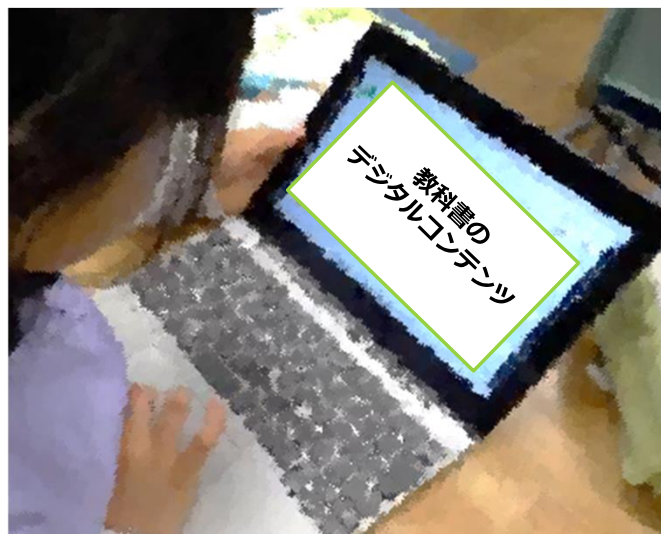
視聴動画

6 研究の具体的内容⑧

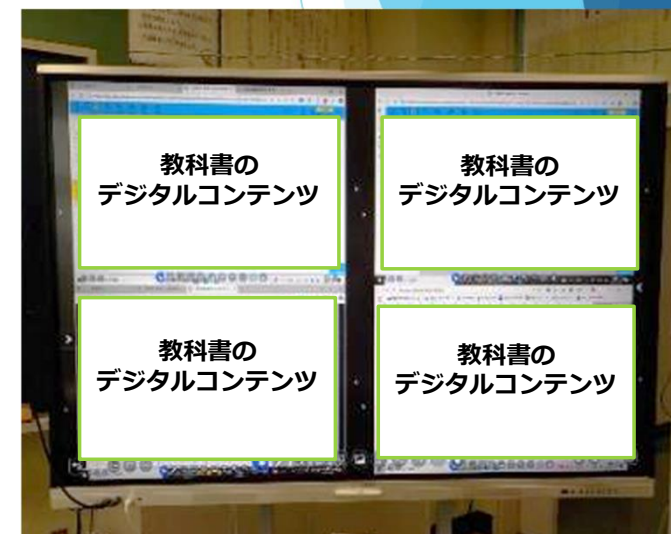
個別最適な学びの視点

(3) 第5学年 算数「四角形と三角形の面積」

教科書の
デジタルコンテンツ



活用している様子



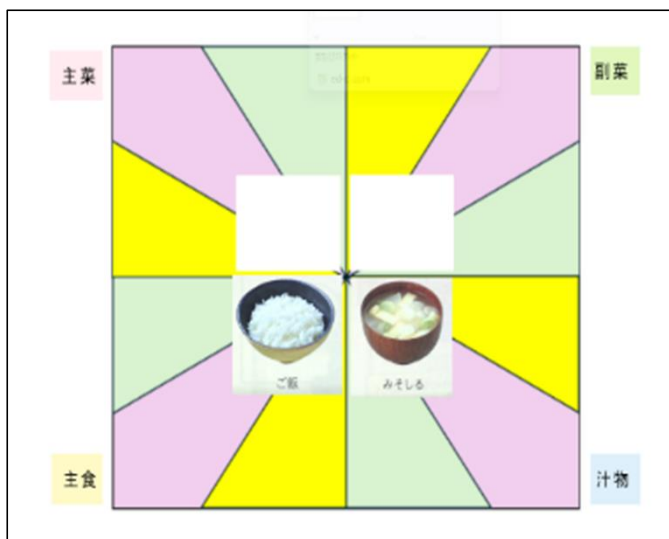
電子黒板に表示した
画面一覧

教科書の
デジタルコンテンツ

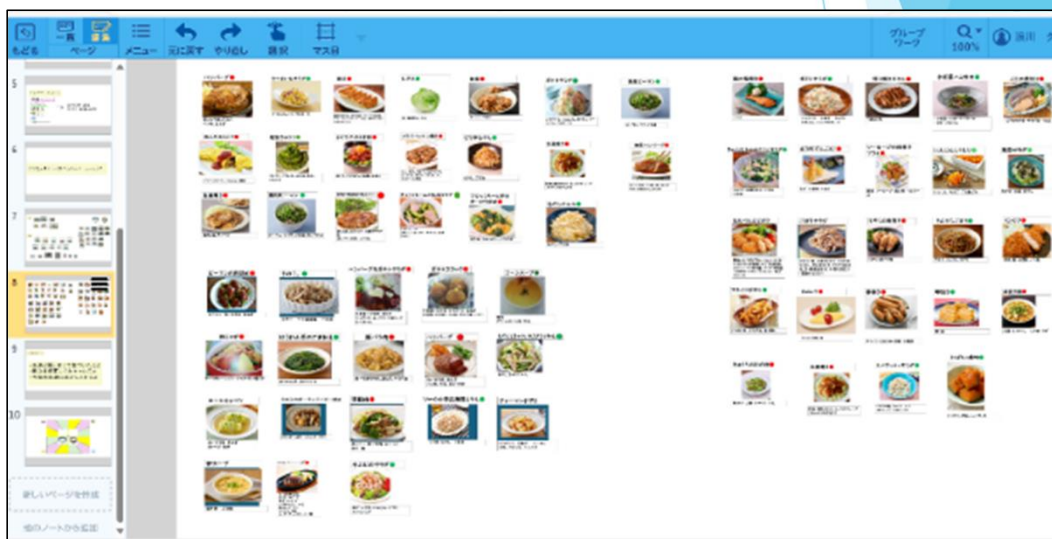
6 研究の具体的内容⑨

個別最適な学びの視点

(4) 第6学年 家庭科「こんだてを工夫して」



視覚的に分かりやすくした
ワークシート



料理カードを取り入れた
ワークシート

6 研究の具体的内容⑩

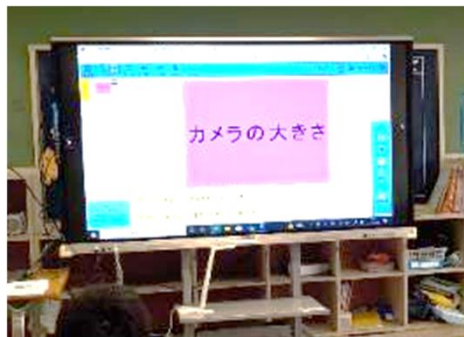
個別最適な学びの視点

(5) あおぞら1 自立活動

「わくわくフェスタをせいこうさせよう～おきやくさんに
わかりやすく伝えよう～」



録音している様子



録音した画像の
まとめ



分類し、まとめた
児童の意見

6 研究の具体的内容⑪

協働的な学びの視点

(1) 第2学年 音楽「おまつりのおんがくをつくろう」



グループで作ったリズムを
録音している様子

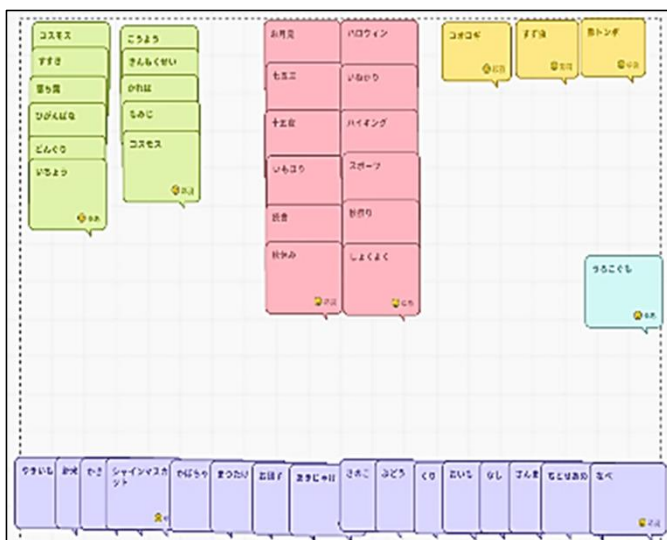


録音したものを聴き合う
様子

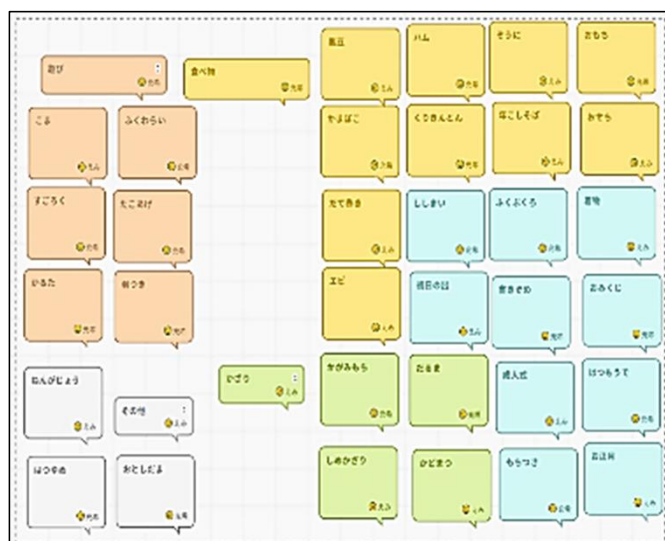
6 研究の具体的内容⑫

協働的な学びの視点

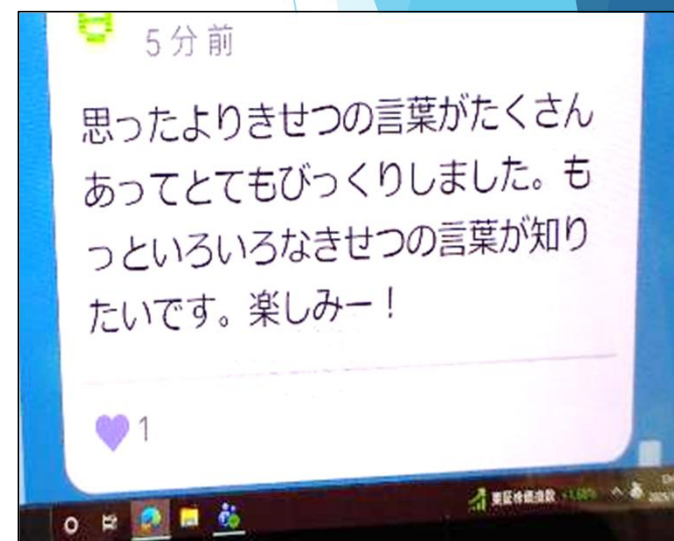
(2) 第3学年 国語「きせつのイメージを広げよう」



ふきだしくんの画面



ふきだしくんの画面



padlet
(掲示板ツール) の画面

6 研究の具体的内容⑬

協働的な学びの視点

(3) 第4学年 国語「クラスの不思議ずかんを作ろう」



「ライブ公開提出箱」
を活用し、複数の児童で
取り組んでいる様子



進度の合う児童同士
でグループを組んで、交
流している様子



伝え合いの型と、読み
合う視点をもとに、伝え
合っている様子

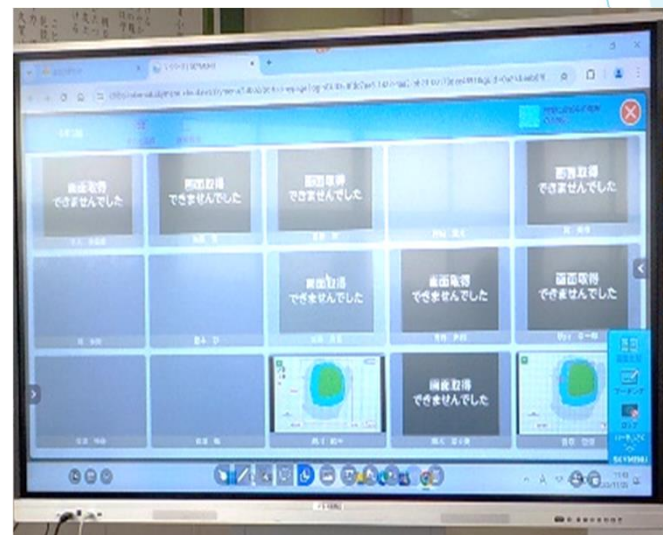
6 研究の具体的内容⑭

協働的な学びの視点

(4) 第6学年 算数「およその面積と体積を求めよう」



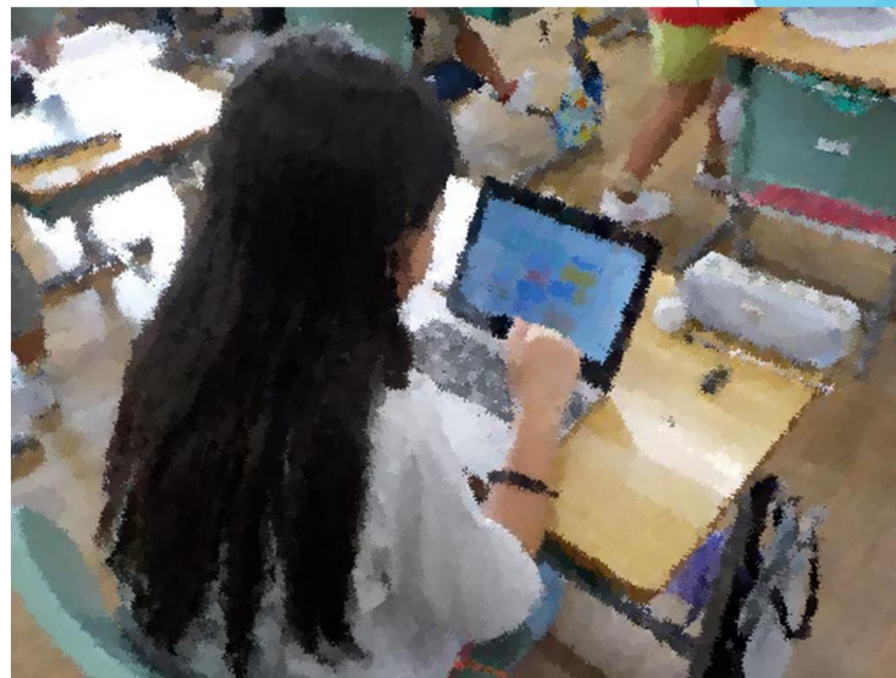
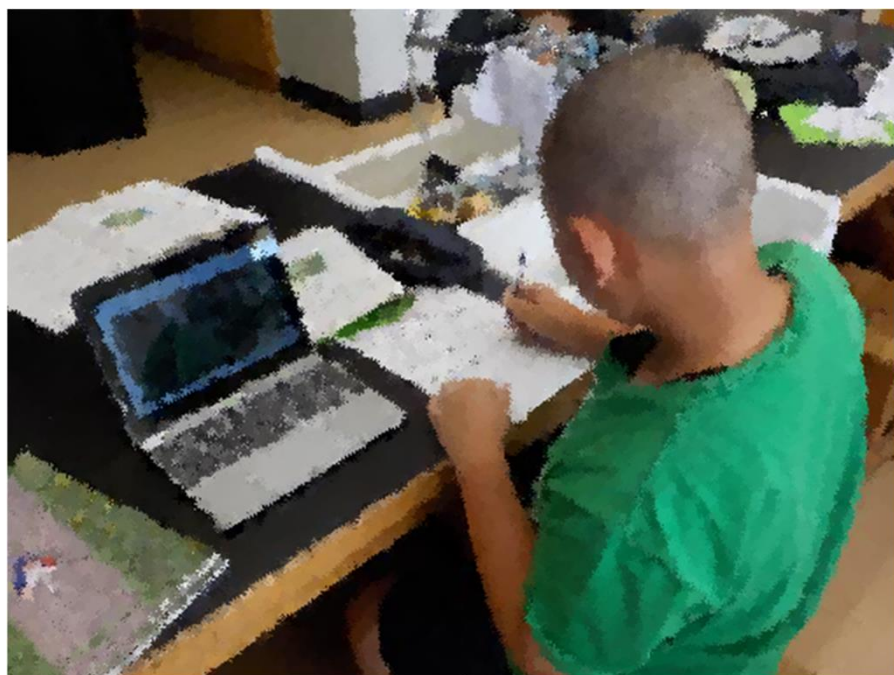
ペア又は3人組での
意見交流



比較・検討するための
提示

6 研究の具体的内容⑮

加配教員の活用



理科の授業等でICTを
活用している様子

7 研究のまとめ①

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
(自ら考えること)

(n = 134 一部児童が複数教科で回答)

	事前	事後
とてもそう思う	49%	48%
そう思う	37%	45%
あまりそう思わない	12%	6%
そう思わない	2%	1%

肯定的に回答する児童

↓
86%

↓
93%

7 研究のまとめ②

自分の考えや意見を、ICTを活用して分かりやすく伝えることができる。（表現すること）

(n = 134 一部児童が複数教科で回答)

	事前	事後
とてもそう思う	32%	36%
そう思う	47%	50%
あまりそう思わない	16%	11%
そう思わない	5%	3%

肯定的に回答する児童

↓
79%
↓
86%

7 研究のまとめ③

ICTを活用して友達と協力しながら学習を進めることができる。（学び合うこと）

（n = 134 一部児童が複数教科で回答）

	事前	事後
とてもそう思う	58%	59%
そう思う	22%	32%
あまりそう思わない	16%	7%
そう思わない	4%	2%

肯定的に回答する児童

↓
80%
↓
91%

7 研究のまとめ④

ICTを活用すると友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。(学び合うこと)

(n = 134 一部児童が複数教科で回答)

	事前	事後
とてもそう思う	40%	50%
そう思う	40%	37%
あまりそう思わない	15%	13%
そう思わない	5%	0%

肯定的に回答する児童

↓
80%
↓
87%

7 研究のまとめ⑤

成果

- **I C T活用の日常化をねらった実践**
 - ・ **教員のI C T活用力を向上させる取組**
 - ・ **児童のI C T活用力を向上させる取組**
- **教員と児童のI C Tスキルが向上した。**

7 研究のまとめ⑥

成果

○ ICTを活用した実践 (仮説検証を目的とした授業実践)

- ・ 個別最適な学びの視点
- ・ 協働的な学びの視点

→ 「自ら考えること」「表現すること」「学び合うこと」に、肯定的に回答する児童が増えた。

7 研究のまとめ⑦

課題

- 「自ら考えること」「表現すること」「学び合うこと」に、否定的に回答する児童への手立て

7 研究のまとめ⑧

次年度の研究の方向性

「自ら考えること」「表現すること」「学び合うこと」に、
否定的に回答する児童



その実態を丁寧につかみ、その児童に合った適切な
手立てを講じる。

7 研究のまとめ⑨

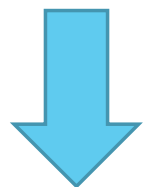
次年度の研究の方向性

自ら考え 表現し 学び合う 児童を育成するために…



「教員のICT活用力を向上させる取組」
「児童のICT活用力を向上させる取組」
「仮説検証を目的とした授業実践」

→継続



「活用の日常化」から、実態に応じた「活用の質の向上」へ